

産業建設委員会記録

令和7年9月11日(木)

10時00分～11時57分

全員協議会室

【委員】川上委員長、田畑副委員長、

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】笹田議長

【執行部】砂川副市長

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大屋商工労働課長、
坂田浜田駅周辺活性化推進室長、佐々木ふるさと寄附推進室長、
佐々木農林振興課長、永見水産振興課長、大驛観光交流課副参事

(都市建設部) 倉本都市建設部長、松井建設企画課長、渡邊建設整備課長、
皆尾維持管理課長

(金城支所) 市原金城支所長、河内産業建設課長

(旭支所) 西川旭支所長、官澤産業建設課長

(弥栄支所) 三浦産業建設課長

(三隅支所) 石原産業建設課長

【事務局】小寺書記

議題

- 1 議案第60号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について **【全会一致 可決】**
- 2 議案第61号 浜田市国民宿舎千畳苑条例を廃止する条例について **【全会一致 可決】**
- 3 議案第62号 浜田市美又温泉美肌観光拠点施設条例の制定について **【全会一致 可決】**
- 4 議案第66号 財産の処分について (浜田市国民宿舎千畳苑) **【全会一致 可決】**
- 5 議案第69号 工事請負契約の変更について (市道日脚治和線 (周布橋) 橋梁床版工事) **【全会一致 可決】**
- 6 議案第70号 市道路線の廃止について (浜田492号線) **【全会一致 可決】**
- 7 所管事務調査
 - (1) はまだお魚市場の運営状況について **【水産振興課】**
 - (2) 令和7年度に開催する市民参加型イベントの詳細について **【該当課】**
- 8 執行部報告事項
 - (1) 浜田駅周辺活性化社会実験について **【浜田駅周辺活性化推進室】**
 - (2) 令和6年度ふるさと寄附のランキングについて **【ふるさと寄附推進室】**
 - (3) はまだお米クーポン券の利用状況等について **【農林振興課】**

- (4) 令和7年8月7日からの豪雨による被害状況について
【農林振興課・維持管理課】
- (5) 浜田市立地適正化計画の策定について
【建設企画課】
- (6) リフレパークきんたの里浴槽系統制御盤の修繕について
【金城支所産業建設課】
- (7) 旭温泉水有効活用起業支援事業補助金に係る賠償請求事件の第一審判決について
【旭支所産業建設課】
- (8) その他
(配布物)
 - ・ 漁業別水揚げについて
【水産振興課】
- 9 取組課題のまとめについて (委員間で協議)
- 10 その他
 - (1) 委員会活動レポート (Vol. 79) の原稿について

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[10 時 00 分 開議]

○川上委員長

出席委員は7名で定足数に達しているため、ただいまから産業建設委員会を開会する。レジュメに沿って進める。

まず、本委員会に付託された、市長提出議案6件の審査に入る。

1 議案第60号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について

○川上委員長

資料として新旧対照表がある。執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

○佐々木委員

「異常乾燥注意報」から「乾燥注意報」になぜ変わるのか。

○農林振興課長

現在「異常乾燥注意報」というのは使っておらず、昭和63年4月に変更になっている。文言の変更である。

○佐々木委員

大分前の話だが、「異常乾燥注意報」という言葉はそもそもないのに、そのまま残っていたということか。

○農林振興課長

そのときに修正せず、現在に至っていた。一般の方からメールで指摘があり、今回修正するものである。

○佐々木委員

どのような方からか。

○農林振興課長

一般の方であり、市内の方ではない。全国的にもこういった「異常乾燥注意報」が残っているところが結構あり、当市だけではなく他市もあった。当市も漏れなく指摘があったものである。

○小川委員

第9条第3項で「防火設備」が「防火帯」に変わっているが、これもそのメールでの指摘があった内容ということか。

○農林振興課長

「防火設備」というのは本来、防火扉や防火シャッターのことで、山にそういったシャッターがあるものではなく、正しい文言に変えた。実際、条例の第10条にも「防火帯」と明記をしている。

○小川委員

上位法が変わったからここを改正したのではなく、そういった指摘を受けて変更したという位置付けだけか。

○農林振興課長

そのとおりである。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

2 議案第 61 号 浜田市国民宿舍千畳苑条例を廃止する条例について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

3 議案第 62 号 浜田市美又温泉美肌観光拠点施設条例の制定について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

○村木委員

第2条第3号に「にぎわい創出エリア」とあるが、施設の列举の中に建物ではないようなものがある。令和7年3月の当委員会で説明を受けた際に「民間商業施設用地」があったが、そのことなのか確認したい。

○金城支所産業建設課長

委員の言うとおり、民間商業施設用地のことを指すが、今回条例を制定するに当たり、いろいろな関係機関と協議した結果、キッチンカーを配置するかもしれない、あるいはそこでイベントをするかもしれないという意見をもらい、広く利用できるようにした。民間商業施設用地としてしまうと、民間に貸すことしかできなくなるので、広くにぎわいが創出できる用地にしようという意味を込めて、名称を変えた。

○村木委員

ここに2区画あるが、建物を建てるわけではなく、平地が存在してその空間を「にぎわい創出エリア」とするということか。

○金城支所産業建設課長

市としては敷地を整備し、今後募集の在り方を検討して、民間に建ててもらったり、キッチンカーを置く事業者がいたり、そういったことを今後検討していきたい。

○村木委員

次に、第4条も指定管理者のことがうたってあるが、括弧書きで先ほどの第3号に

については除くと書いてある。この条例自体、料金や許認可などがうたっているが、この条項をもって、先ほどのにぎわい創出エリアについては、この拠点からは外れるということになれば、管理をするのは浜田市ということか。

○金城支所産業建設課長

委員の言うとおりに、にぎわい創出エリアの管理は市が直営で行おうと考えている。

○村木委員

そうすると、物を建てるかもしれない、キッチンカーが来るかもしれない、その許認可や手続は、市の持っている条例や規則で対応するというところで、利用料金制ではないという位置付けか。

○金城支所産業建設課長

現行の制度の中で市が募集をして貸し付けていこうと考えている。

○大谷委員

どのような理由から休館日を水曜日と設定しているか聞かせてほしい。

○金城支所産業建設課長

休館日、開館時間も含めて、市で考え、条例を整理した。その理由としては、水曜日が現在の美又温泉国民保養センターの休館日として定着していることに加えて、隣接の美又温泉会館が月曜日休みであることなどを勘案し、市の考えとしては新しい施設も水曜日を休館日としたいということである。ただし、条文にあるように、指定管理者が市長の承認を受けてこれを変更できることにしており、指定管理者の募集に当たっては、市の考えとして水曜日を定休日として定めたいと考えている。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

4 議案第 66 号 財産の処分について（浜田市国民宿舎千畳苑）

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

5 議案第 69 号 工事請負契約の変更について（市道日脚治和線（周布橋）橋梁床版工事）

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

(「なし」という声あり)

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

6 議案第70号 市道路線の廃止について（浜田492号線）

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○維持管理課長

市道路線の廃止について説明する。資料の航空写真による平面図を見てほしい。本件は、一つの路線を廃止するものである。浜田492号線は、君市踏切改良工事が完成したことに伴い、新たな路線である浜田555号線を令和6年12月に認定したことにより、廃止するものである。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

（ 「なし」という声あり ）

以上で付託議案の質疑を終了する。採決は後ほど行う。

7 所管事務調査

○川上委員長

執行部からは補足説明があればお願いします。なければ質疑に入るので、よろしくお願いします。

(1) はまだお魚市場の運営状況について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○水産振興課長

はまだお魚市場の運営状況について、少し説明する。

まず、はまだお魚市場は、株式会社第一ビルサービスが指定管理者として運営をしており、期間が令和6年4月1日から令和11年3月31日までとなっており、現在2期目である。入込客数は令和6年度の実績として16万6,145人だった。事業収支については、令和6年度の収入合計が1億1,364万9,324円、支出合計が1億1,253万8,513円で、収支差引は111万811円の黒字である。主な収入は、商業棟1階の物販の営業収入、それからフードコート及び仲買業者の家賃である利用料金収入である。特に物販の営業収入は着実に増加しており、令和6年度の実績で前年度から約400万円の増である。

総括として、令和3年度、4年度は収支が赤字だったが、指定管理者において収支改善に取り組み、令和5年度以降は黒字に転換している。その要因としては、特に商業棟1階の営業収入について、バスの観光客の誘致活動を積極的に行い、日帰りバスツアーの来館が増えてきたこと。また、水産庁が毎月3日から7日を「さかなの日」と制定しているが、その間に合わせて冷凍干物や冷凍鮮魚の特売販売の定期的な開催、それからInstagramなどを活用した情報発信の効果があり、着実に営業収入

が伸びてきたことが、収支が黒字になった原因と考えている。

引き続き、施設の安定した運営を行ってもらえるものと考えており、水産振興課としても連携して活性化に努めていきたい。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○佐々木委員

訪れると、以前とは違ったレイアウトなど、特に商業棟1階の物販は、かなり工夫がなされているのだろうと思うが、管理者の企画について、こういう点が良かったなど、気付いた点があればお願いします。

○水産振興課長

何とか営業収入を伸ばしていこうということで、工夫としては、特に市場の公休日には生の魚がないため、仲買売場も営業が難しい状況があった。そこで、第一ビルサービスが魚を仕入れて冷凍鮮魚として、魚がないときに工夫して営業収入を伸ばそうということで、冷凍平台を導入され、水産物の販売エリアを増やしている。

○佐々木委員

鮮魚の関係は冷凍でということだったが、入口の物販コーナーの工夫はどうか。

○水産振興課長

物販も浜田産品の取扱いを増やしていこうということで、情報収集もされ、着実に浜田産品も増えてきているので、地域産品のPRも含めて努力をしている。

○佐々木委員

浜田の地元コーナーなどもあり、より利用しやすい環境づくりがなされているように感じている。よく聞くのが、地元商品をしっかり扱ってほしいという声だが、できる限りの品ぞろえをされていると思う。さらにそういった余地がまだまだあるのではないかと思うが、どうか。

○水産振興課長

指摘のとおり、浜田産品を増やしていこうということは常に指定管理者も意識しており、年々アイテム数は増えてきている。まだまだ情報収集されながら、浜田市内の企業とコラボしたオリジナル商品も企画検討されているので、水産振興課も連携して取り組んでいきたいと思っている。

○田畑副委員長

指定管理者に対する管理費はどのようになっているか。

○水産振興課長

管理費の項目だが、まず、物販関係の仕入費用、営業関係の旅費交通費、広告宣伝費、通信費、車両費、販売促進費、そういった一般的な管理費が含まれる。

○田畑副委員長

金額にすればどの程度か。

○水産振興課長

管理費全体は91,317,891円で、その内訳か。

○川上委員長

以前も問題になった一般管理費だと思うが、一般管理費ほどの程度か。

○水産振興課長

大きな項目で人件費と管理費という項目に分かれている。

○川上委員長

本社経費は入っているか。

○水産振興課長

本社経費は入っている。

○川上委員長

本社経費ほどの程度か。

○水産振興課長

本社経費は各項目に分かれており、積み上げた金額はすぐには分からない。

○川上委員長

後で結構なので、報告をお願いします。

○水産振興課長

分かった。

○大谷委員

日帰りバスツアーの促進に向けて努力するという話があったが、来場台数の変化が見えるデータがあれば聞かせてほしい。

○水産振興課長

前年度が99台、令和6年度が108台のバスの立ち寄りがあった。

○大谷委員

微増ということだが、結果は分かった。

収益も出て好調のように受け止めたが、継続していくためには、来場者のニーズをしっかりと受け止めて逐次改善していくことが大事かと思う。どのような取組があるのか分かれば聞かせてほしい。

○水産振興課長

施設内にアンケートボックスを設置している。フードコートと商業棟と仲買棟の間の通路に2か所設置しており、来場者の意見を聞き、喜んでもらえるような場の提供を心掛けるよう運営されている。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

(2) 令和7年度に開催する市民参加型イベントの詳細について

○川上委員長

執行部から補足説明はあるか。

○商工労働課長

令和7年度に産業経済部、都市建設部が関わっている市民参加型のイベントをまとめている。市単独のものに加えて実行委員会などで関わっているものも含めてイベントの内容を掲載している。市民参加の有無については、基本的には市民参加のイベントを掲載しているが、1ページ目下から5段目の浜田駅周辺イルミネーションについては、市民参加なしのイベントということで整理して掲載している。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○大谷委員

キッチンカーのように個別に出店するケースもあると思うが、この資料からは見えない。把握はできているか。にぎわいの度合いを知りたいが、どうか。

○商工労働課長

キッチンカーなどで来た方をどれだけ把握しているかということか。例えば、BUY浜田昼市ではキッチンカーに来てもらって開催している。イベント全体の来場者数と、キッチンカーなどでどれだけ来たか把握するようにはしている。

○大谷委員

この表の中には出ていないように見受けるが、そういったことも把握してあるのであれば、このイベントの全体像が見えるように資料があると良いと思った。催し物をする団体が参加を呼び掛けるときに、主催者側の一員として参加する人もいれば、来場者として参加する場合もあると思う。主催者側のメンバーがどの程度参加されているかということも分かれば、イベントのにぎやかさが見えるかと思った。今後、分かるところがあれば資料として見せてほしい。

○商工労働課長

今回35件のイベントを掲載しているが、今言われたようなことで把握できているものも、していないものもあるかと思う。私が関わっているBUY浜田昼市では、キッチンカーなどのケースはできるだけ把握するようになっているが、全体的にどこまで把握しているか当課では分からないので、難しいところはあるかと思う。

○川上委員長

大谷委員が言うように、イベントの内容の中に「キッチンカー3台」など、分かれば書いてもらおうとより一層良いということだと思う。

○商工労働課長

そういうことであれば、記載できるものはしていきたいと思うが、今回のこの資料にそういったものを加えたものを改めて示すということになるのか。

○大谷委員

イベントがこうして市民参加で行われているので、その度合いを知る一つの指標としてあると良いと思う。あれば見せてもらえたいが可能か。

○商工労働課長

具体的にその辺は調整し、また報告する。

○川上委員長

市民参加型イベントについてだが、以前行った「はまだ市民一日議会」での発言者は、このようなイベントに併せて地域を回るような企画を取り入れることで浜田の魅力を再発見できるような提案があったと考えている。参加型イベントが多くあるようだが、引き続きそのような視点も持って、先ほど言われたようなキッチンカーなども参加しているということも含めながら、イベントの企画、運営を検討するようにお願いする。

以上で所管事務調査を終了する。

8 執行部報告事項

○川上委員長

資料は事前にタブレットにアップロードされ、委員は読み込んでいるので、執行部から経緯や背景、ポイントなどを簡潔に説明してもらい、その後、委員から質疑を行う。

(1) 浜田駅周辺活性化社会実験について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○浜田駅周辺活性化推進室長

5月臨時会議の補正予算で計上したものだが、令和5年度に設置した三桜酒造跡地公共活用検討委員会などの提言に基づき、周辺エリア活性化に向けた施策の検討に当たり、にぎわい創出の可能性や課題などを把握することを目的としている。

三桜酒造跡地については、浜田駅側の約1,800㎡のアスファルト舗装部分を社会実験会場として、会場には10m四方の大型テント、お魚市場のようなテントとステージ、仮設トイレ、手洗い場などを設置する。駐車場については、三桜跡地の中の浜田高校側の約1,600㎡を砂利敷きとして、約50台分を確保している。また、臨時駐車場としては県立体育館横のNTT社宅跡地も開放しようと思っている。

社会実験については、9月14日から10月5日までの計5日間を実施する予定で、9月14日のまちなか夜神楽と10月5日のBUY浜田昼市は市が実行委員会となって主体的に企画するが、9月21日、23日、28日については、広報はまだで募集して市民からの応募があった企画を実施してもらおう。それぞれの内容は記載のとおりである。

また、当初の予定では、これらの企画に併せて商店街においては、例えば歩行者天国やオープンカフェといった道路空間でのイベントも考えていたが、商店街内のイベントではないときに交通規制というのは難しいだろうということと、むしろこういった周辺での企画イベントが商店街における営業にどのように影響があるか、その連携を調査、検証したいということで、交通規制は行わないことになった。

最後に社会実験の効果検証だが、来場者、出店者、周辺店舗、そして周辺住民それぞれにアンケートに協力をしてもらい、項目や結果の分析については、立地適正化

計画の策定を都市建設部で今年度から取り組んでおられるが、こちらのコンサルタント業者の支援と協力も得ながら進めていこうと考えている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

この社会実験は肝いり事業だと思っているが、告知や盛り上がり方がうわさになるなどがあまり聞こえてこない気がする。例えば、14日のイベントについて、9月から金曜と土曜は三宮神社で神楽があり、これは有料だが、こちらは無料なので相当な客足が見込まれるのではないかと思う。今のところ市民はどのようにこの情報を受け止められるようになっているのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

当初この社会実験を行うに当たり、広報はまだの7月号でこういった時期にこういったものと考えていると一度載せている。また、今回説明した内容は明日、新聞折り込みチラシを入れる予定である。この5回分のものが図面に落ちていくような形でお知らせしようと思っている。

加えて、銀天街ではアーケードの柱にPOPを張ってもらい、今度こういうものがあるということの開催周知と併せて、買い物は銀天街でということを広報してもらっている。

○牛尾委員

今の告知方法は、どちらかという観光協会がよくSNSを使ってやっているような、例えば今日の夜急にあるから限定で何人来てくださいといった急な告知で、私たちが駆けつけるようなことがあるが、親子連れや若い人も含めて、ここで滞留するような施設ができると良いというアンケート結果があったと思うが、そのための対策は室長が言ったようなチラシ程度では、動員につながらないような気もするが、SNS対策はどのようにしているか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

チラシにはQRコードを付けて、ホームページでも見られるようにしている。観光協会の観光情報のところにも情報を流すようにしており、それぞれのイベントの詳しい内容、例えば石州酒まつりにどの酒蔵が出るのかなど、詳しい内容が見られるようにしている。また、会場にはいすや座れるようなものも置いているので、滞留するという形に対応できるようにしたいと思っている。

○牛尾委員

初日に、もしかしたら大勢の人が来られるかもしれないが、駐車場の台数も含めて先ほど報告があったが、どの程度の集客を仮定して見込んでいて、その対応はどの程度まで準備がされているのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

臨時で設けた駐車場が100台、駅周辺の時間貸し駐車場が約500台あるので、車で来る方の最大数はその程度である。あまりに人が多く来るようであれば、当日は警備

員も何人か配置しているので、そういった方の協力を得ながら、スタッフにも市職員が何人かいるので、多すぎる場合は何らかの形で規制というのも考えているが、現段階では、今までの野外イベントやこの時期のイベントと同様に、対応できるのではないかと考えている。

○牛尾委員

神楽は無料か。野外イベントで特に注意しなければいけないのは、想定外のことである。想定外のときに、どういう対応の準備ができているのかを確認したい。

○浜田駅周辺活性化推進室長

例えば、火事や災害といった想定外のことについては、ある程度整理したものはあるが、交通の整理は業者に頼んで配置しているものの、細かい動きまでのマニュアルはまだできていない。

○牛尾委員

無料なので、相当な人が出掛ける気がする。そうすると、例えば3,000人来たとして、キッチンカーが3台だと、1台当たり1,000人である。飲食も含めてある程度期待をされて来られるわけだから、おそらく対応できないだろうと思う。準備が足りない気がする。神楽は無料で良かったけど、飲食はすごい行列で買えなかったといったクレームが起きないとも限らない。そういう想定外で市民が大勢来たときの対応はどのようにするのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

そのために、例えば銀天街周辺にPOPで「行き帰りに銀天街でよろしく願います」といった案内をしている。近くのスーパーマーケットにもお願いをして、ここでこういうことをやるので来場者が来られると思うがよろしく願いますという話はしている。ただ、会場で3台のキッチンカーが焼き鳥、ジェラート、もう一つは弁当などではないので、並んだときに足りるかどうかわず不安はあるが、そういうのも含めて実証実験ということで、おもてなしが足りなかったということであれば、今後、検討委員会で言われたようなにぎわいを考えるときに、キッチンカーが来られるようなブースを多めに設けなければいけないといった結果につなげていければと思う。

○牛尾委員

肝いりで社会実験をやる、その初日である。ここで対応がまずかったら、「なってない」といううわさが一気に広がり、それ以降のイベントに関連してくる恐れがある。逆にそれが分かっているなら、例えば出店をお願いして、キッチンカーを3台だけでなく、意欲を感じられる計画にしないと大変なことになるのではないかと心配する。

○小川委員

検討委員会の提言なども踏まえてということがあったが、活用については、様々な議論の中で、例えば三つの機能を併せ持った施設といった構想も打ち出されていた。社会実験の内容を見ると、その中でも幅広い年齢層の市民が集って楽しめる場という、三つのうちの一つのデータを取れる可能性はあると感じるが、それ以外の二つの機能

については、この社会実験ではニーズやデータを取るの難しいと思う。今回の目的はそこに集中しているという認識で良いか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

イベントをすることが目的ではない。あそこでにぎわいを創出することによって何が必要で、何が不足しているかといった課題を捉えようと考えている。そこに施設を建てるかどうかということではなく、にぎわいが起きるときにどういったものが必要なのか、あるいは駅周辺とどういう連携が可能なのか、本当に連携できるのか、そういったものを検討しようと思っているので、施設という切り口ではない。

○小川委員

分かった。アンケートも取る予定ということで、5項目程度あるが、その取り方は、紙ベースでやるのか、最近よく利用される二次元バーコードを読み込んでスマートフォンで入力してもらうのか、現段階ではどのような考え方を持っているか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

アンケートは基本的に会場内においては聞き取りと思っている。担当者が紙を持って聞きながら取る形である。加えて記述式なので、アンケートブースを設けてそこで書いてもらっても良いかと思っている。一方で、会場周辺や出店者、周辺店舗にはお願いをして、紙ベースで返してもらおうと思っている。それを集約した上で解析しようと考えている。

○大谷委員

この期間に出店するから来てほしいという案内ももらっており、意識は高まってきたと理解しているが、例えば9月21日のホビーマルシェは何ブース出るかなどの参加規模が見えるとにぎわいも想像できるが、参加ブース数は分かるか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

ここにあるのは大きなものだが、これ以外にも個人でフリーマーケットをやりたいという方もいる。そういったものは随時動いているので、ホビーマルシェは七つ程度のテントが横に並ぶような形だったと思う。

○大谷委員

折り込み案内が入るとのことなので、それを見ればより詳しく分かるとは思っている。トイレが仮設で設置されるようだが、来場者数によっては数が少ないように受け止めるかどうか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

トイレの考え方もいろいろあり、業者とも相談した結果、あの場所でイベントをして人が集まるのであれば、それぐらいは必要だろうということで、男性用二つ、女性用三つを準備している。店舗や他の公共施設のトイレもあるので、それも合わせれば、待つことがあるかもしれないが、こなせるのではないかと考えている。手洗い場も二つ設置した。

○大谷委員

周りの施設が利用できるのであれば、どの施設が使えるという案内は示されるか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

特段固有名詞を出してここということは言っていないが、チラシを持ってお願いに歩く際に、こういうことがあればよろしくお願ひすると、全部お願ひしている。

○大谷委員

やってみて大丈夫だったということも、足りなかったということもその結果だと思いが、今の男性2、女性3という数では、少し心配な気持ちがあった。それに対して、例えば前半の状況を見て後半増設するなど、臨機応変な対応は可能なのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

限られた予算ではあるが、委員が心配するような事態になれば、考えていかなければいけないと思っている。

○佐々木委員

5回のイベントが計画されているが、9月28日のイベントがほかに比べて少し集客が難しそうな雰囲気がある。そのような差は感じているか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

21日、23日、28日は、テントとステージを設けるので、市民に自由に使ってほしいという形で広報した。希望日があり、それを調整する中で日程が決まった。ご覧のとおり21日が割と人が多い感じがする。28日は、地元の町内の方が、せっかくあそこで何かあるなら自分たちでもやってみようということで、あえて参加してくれたものである。均等に同じようにやるのが望ましいかもしれないが、日程の希望もあったため、少し強弱はあるかと思う。

○佐々木委員

地元の黒川町の方に参加してもらうのは良いことで、そういった前向きな姿勢を評価したいと思う。28日の企画内容の有償助け合いシステムとは、どういう内容か。

○浜田駅周辺活性化推進室長

子育てや介護をしている方が、必要であればお互いに手伝い合うという組織があり、そういったものを広報したいという組織の展示である。

○佐々木委員

非常に良い項目だと感じた。今回の社会実験は、ここがにぎわいの場として成り立っていくのかということと、もう一つは駅前周辺エリアの活性化にどうつなげていくのかということだと思う。特に、銀天街の店舗への良い影響が出るかどうかはもう一つの目的だと思うが、どうか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

委員の言うとおりで、何かがあることによる銀天街への影響、あるいはそこの連携ができるかということ、しっかりアンケートをしようと思っている。銀天街の理事会でも話をしてもらい「いろいろ考えよう」と言ってもらっている。

また、黒川2町内は、地元説明に伺うと、車や騒音の問題などいろいろな意見はあったが、せっかくそこにあるなら、それを使って何かやろうと協力的に言ってもらい、自分たちのイベントをするという仕組みになっている。

○佐々木委員

少し気になるのが、「買い物もできれば銀天街で」という話があったが、銀天街は飲食店が多く、通常の商店が少ないように感じる。銀天街側の受皿として、何か考えはあるか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

かつては物販の店もあったが、今は飲食店が多くなっている。逆にあそこでイベントがあるなら、行き帰りに食事ができないかということも考えている。10月5日には石中央文化ホールで宝探しイベントがあるが、これは文化ホールが、この場所でイベントをするなら銀天街からスポンサーになってもらい、石中央文化ホールを使ってもらった上で、その賞品を銀天街で使えるようにして帰りに寄ってもらおうという仕組みにしている。その受皿としては飲食店が多いが、物販店も何らかの形で商品を出してもらおうということで、初めて連携ができると文化ホールの方も言っていた。これから銀天街にどういった業種が必要か、何を求められているかというのが、今回のアンケートなどで検証してもらえないかと思っている。

○佐々木委員

駐車場は会場に50台とNTT跡地ということで、銀天街方面からは少し離れており、人の流れとしてハードルが高いような気もする。そこに行けば買えるという意識が持てるようなものが銀天街で出てこないか、そういった流れができにくいのではないかと懸念している。方向性があれば聞きたい。

○浜田駅周辺活性化推進室長

具体的なことを聞いているわけではないが、理事長と話をする中では、駅周辺全体で盛り上げていくためには、ある施設を整理した上で一緒にやっていくことが必要だと言ってもらっている。今回をきっかけに駅の北側にチラシを持って伺うと、後で電話があり、「自分たちも一緒に取り組んでいきたい」と言われた。踏切も良くなったので、駅の南側だけでなく北側も含めて駅周辺が一つにぎわいの拠点になっていくのではないかという気もするので、これから課題として念頭に置いて取り組まなければいけないことだと思っている。

○佐々木委員

駅前周辺の活性化という大きな市の課題に取り組んでいく上で、この三桜跡地が今後良い影響を与えるような意識が皆に広がっていけばと思う。

○牛尾委員

真ん中のステージである程度パワーのあるものを見せる必要があると思う。神楽は音が出るが、例えばジャズやクラシックなど、音楽で人を呼び込むような企画がこの中にはないように見えるが、当初から考えの中になかったのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

ステージの位置付けについては、何かにぎやかなものという話も聞いていた。市民から公募した中にはそういった大きなものがなかったので、つてを頼って探したが、なかなか屋外というのは天気のこともあり難しいと言われた。ただ、10月5日

にはBUY浜田のダンスの音楽を流すので、にぎやかにはなろうかと思うが、ジャズやフォークといったステージは今回準備できなかったので申し訳なく思う。

○牛尾委員

大きなテントがある日にちは限られているのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

ずっとあるが、屋根の下の部分しかないので、難しいと思われたのだと思う。

○牛尾委員

三桜跡地をどうするかという議論の中で、神楽だけでなく音楽イベントもできるという使い方の話をした。そういったものが構想にないというのは、社会実験をするには少し欠けているような気がする。これでは社会実験として不十分ではないかと心配なのだが、気にならないか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

せっかくテントもステージも設置するので、いろいろやってみたいという気持ちもあるし、必要だという気もするが、できることも限られている。今回はイベントをすること自体が目的ではなく、にぎわいがあったときに何が必要か、何が不足しているか、課題は何かというところを拾っていきたいと思ったため、そういった大きなものに欠けたかなという反省はしている。

○川上委員長

進行を副委員長と交代する。

まず、三桜跡地は交差点の横であり、信号機及び横断歩道がある。その周辺であることに関して、安全上の問題はないか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

入口を何か所も設けず、少し交差点から離れたところから入れるようにして、交差点部分に滞留しないように工夫したつもりだが、具体的に信号の時間をずらすなどはしていない。

○川上委員長

横断歩道から何メートルという規制があったと思うが、それについては大丈夫か。

○浜田駅周辺活性化推進室長

規制については特段聞いていないが、できるだけ交差点から離れるようにということで、浜田高校寄りの入口にしている。

○川上委員長

規制上の確認をお願いします。

二つ目は、交差点手前である。浜田高校側から来ると、車は左側を走るの、左側にイベント会場があり、目の前に信号と横断歩道がある。安全対策はどのようにしているか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

会場と歩道の間にはバリケードを置いているが、それ以上に別の補助的なものを置くといった準備はしていない。

○川上委員長

一番気になるのは、交差点に近づくと左側にイベントが見えてくることである。特に夜神楽は完全に見える。そうすると運転手の視線が左に向き、目の前には交差点がある。大丈夫か。

○浜田駅周辺活性化推進室長

大丈夫だとは言いがたいが、歩道は広いし、車道の間にある。安全運転をしてもらえると思う。

○川上委員長

まともな運転ができるように考えてほしいということである。事故が起きた際の原因をつくったのは浜田市だと言われたらどう対処するのか。

○浜田駅周辺活性化推進室長

実証実験の5日間の中で、指導員もいて、これは危ないと判断すれば、配置換えをするなどして臨機応変に対応したい。

○川上委員長

やる前に安全のシミュレーションをしっかりと、近くに警察があるので、指導を仰いで準備をお願いします。

○田畑副委員長

進行を戻す。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

ここで暫時休憩する。

[11 時 11 分 休憩]

[11 時 20 分 再開]

○川上委員長

委員会を再開する。

○水産振興課長

先ほどの所管事務調査の中で、経費の中の本社経費の質問に答えたい。

本社経費についてだが、毎年公表しているモニタリングレポートには、内訳も含めて、現場で発生した経費と本社の人間が動いて発生した経費を表示している。実際にはこの本社経費は、現場の人員では対応できない業務を、本社の担当3人の職員が応援として入ったことによって発生した経費ということで、お魚市場の経費の中で計上されている。

今日の資料の支出のうち、例えば人件費で約2,100万円令和6年の実績を計上しているが、そのうち本社経費3人分の経費として427万円が載っている。また、管理費の中で本社経費として、全体で約9,100万円あるが、そのうち455万8,948円、外注

加工費、広告宣伝費、雑費の合計として、本社経費として計上している。

(2) 令和6年度ふるさと寄附のランキングについて

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○ふるさと寄附推進室長

最初に、中国地方のランキングを載せている。当市は、前年より一つ順位を上げて第4位、島根県内では昨年と同じく第2位という結果である。上位自治体の状況は、1位の下関市は冷凍ギョーザ、2位の米子市は生ハム、3位の出雲市はパソコンがそれぞれ好調というところである。

次に、全国ランキングで、浜田市は1,788の自治体中213位だった。全国の寄附額は約1兆2,728億円、対前年度比は約1.1倍、寄附額は約1,500億円の増となっているが、件数はほぼ横ばいの状況だった。1位の兵庫県宝塚市だが、市内在住の夫婦からの254億円もの高額寄附があり、全国トップとなっている。

当市への地方別寄付状況について、昨年とほぼ同様の分布となっており、約半数が関東地方、次いで近畿、中部となっている。東京都が全体の25%、次いで大阪府、神奈川県と続き、それぞれで全体の1割程度を占めている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(3) はまだお米クーポン券の利用状況などについて

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○農林振興課長

広報はまだ8月号に併せて、現在2万3,758枚を配布している。そのうち、複数世帯などによる再交付が1,220枚である。39店舗で利用することができ、2回の換金日によって1,266万円が換金された。その中で、米以外の利用率が約46%となっている。11月28日まで利用できるのもので、引き続き利用してもらいたいと思っている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○牛尾委員

市民からこのお米券が米以外にも利用できるのもので、感謝の声を相当聞いている。データでも出ているが、そのことだけを報告しておく。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

(4) 令和7年8月7日からの豪雨による被害状況について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○農林振興課長

8月7日からの豪雨により、農業用施設と農地に被害があった。農地については、浜田は単災で1件、弥栄町については田んぼが栃木と小坂でそれぞれあった。農業用施設は、金城町の上来原で1件、これは水路の本災である。本災は10月20日から査定に入る予定にしている。

○維持管理課長

続いて、道路や河川の土木施設の被害状況について説明する。道路の被害状況が合計で39か所、被害額が6,030万円である。続いて、河川の被害状況は合計で4か所、420万円の被害額となっている。本災、査定を受けて国から補助金をもらう規模の大きな災害で、4件、3,900万円である。単災という比較的規模の小さい工事が、18か所、1,100万円である。委託というのが主に崩土撤去で、21か所、被害額が1,450万円となり、合計で43か所、6,450万円となる。これに査定対応及び発注のための測量設計業務として750万円が必要となるので、合計で7,200万円となる。

○川上委員長

説明が終わった。委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(5) 浜田市立地適正化計画の策定について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○建設企画課長

浜田市では今年度から立地適正化計画の策定に着手する。また、併せて長期未着手となっている都市計画道路の見直しにも取り組む。事業の委託業者が決定したので報告する。

立地適正化計画の概要である。昨年12月の産業建設委員会でも説明したが、この計画は今後の都市像を描き、公共施設だけでなく住宅や民間施設を対象として誘導による都市構造の再編を図るための制度である。具体的には、都市計画区域の中に居住誘導区域と都市機能誘導区域を設定し、その誘導のために講ずべき施策などを定める。また、都市の防災指針も定める必要がある。委託業者だが、8月6日に株式会社エイト日本技術開発浜田支店と契約を締結した。公募型プロポーザル方式により、応募のあった3者の中から選定した。今年度の契約額は1,389万6,300円である。この計画は令和9年度の公表を目標として3年間で策定することとしており、令和8年度、9年度分は同社との随意契約を予定している。3年間の策定スケジュールについては資料に記載のとおりである。

なお、今後の進捗状況については、学識経験者や市議会議員などで構成される浜

田市都市計画審議会にて定期的に報告し、意見を聞くこととしている。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

○大谷委員

概要のところに「公共施設だけでなく」とあるが、公共施設にもいろいろあるが、重点とすべき公共施設の想定があるのであれば、聞きたい。

○建設企画課長

市役所の本庁や支所はもちろんだが、他市の計画を見ると、ホールや図書館なども入っているので、そういったものも含めてこれから検討していきたいと考えている。

○大谷委員

今の例の中に学校がなかったが、学校は含まれるのか。

○建設企画課長

学校も教育施設ということで、含めて考えていきたい。

○大谷委員

人口密度を一定以上維持するという方向性だが、目標人口密度を設定するのか。

○建設企画課長

立地適正化計画には目標値の設定があり、5年ごとに検証していくことになる。居住誘導区域における人口密度や市の人口に対する居住誘導区域内の人口の割合など、目に見える数値を目標として考えていきたい。

○大谷委員

具体的な数値は示されなかったが、今後の協議の中で示すということなのか。

○建設企画課長

具体的な目標数値はこれから考えていきたい。居住誘導区域内での人口密度をどう設定していくかというのは、今後の検討になる。

○川上委員長

ほかに質疑はないか。

(「なし」という声あり)

(6) リフレパークきんたの里浴槽系統制御盤の修繕について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○金城支所産業建設課長

リフレパークきんたの里の浴槽系統の制御盤について、緊急修繕という形で予備費を使用して修繕したことを報告する。

まず、令和7年7月19日に指定管理者から浴槽で機器のトラブルがあったという第一報を受け、こちらから指示をして調査をしてもらった。結果として、ボイラー室の中にある温度調整を行うための制御盤が、モニターを含めて全く映らない、操作ができない状況に陥った。その修繕方法を検討し、財政協議を経て、7月29日に着手

し、8月7日まで修繕期間で、261万2,544円を投じて修繕をした。この間、2段階に分けて入浴者の制限をしており、まず発生した19日から原因が分かるまでの7月21日までは日帰り入浴を止めた。原因が分かったので、22日から8月7日までは、様子を見ながら時間を限定して日帰り入浴を再開した。住民への周知は無線放送、市のホームページ、施設のホームページ、観光協会への周知にて行った。

○川上委員長

委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(7) 旭温泉水有効活用起業支援事業補助金に係る賠償請求事件の第一審判決について

○川上委員長

執行部から説明をお願いします。

○旭支所産業建設課長

判決内容及び今後の対応について報告する。

まず、訴訟の経過だが、令和5年10月26日に大阪地方裁判所堺支部に当時の企業者2名から訴えの提起があった。以降、11回の審議がなされ、第12回期日の先月8月21日に、棄却判決の言渡しがあった。事案概要、請求の趣旨については記載のとおりである。判決には、主文が2点あり、1点目は「原告らの請求をいずれも棄却する」、2点目は「訴訟費用は原告らの負担とする」となっている。今回の第一審の判決としては、浜田市側の主張が100%認められた判決になったところである。今後の対応として、判決書の送達日から2週間以内に控訴ができることとなっている。今現在のところ、原告の動きはないが、動向を注視している状況である。令和6年に浜田市が補助金について損害賠償請求をしている訴訟が別途係争中であるので、引き続き対応していく。

○川上委員長

説明が終わった。委員から質疑はあるか。

(「なし」という声あり)

(8) その他

○川上委員長

配布物が1件ある。漁業別水揚げについて確認してほしい。

執行部からその他報告事項はあるか。

(「なし」という声あり)

以上で執行部報告事項を終了する。ここで、9月29日の全員協議会へ提出して説明すべきものを決定する。執行部の意向を確認する。

○商工労働課長

本日の3番目の「はまだお米クーポン券の利用状況などについて」及び7番目の

「旭温泉水有効活用起業支援事業補助金に係る賠償請求事件の第一審判決について」の2点について報告説明したいと思っている。

○川上委員長

執行部から2件の報告をしたいという意向だったが、委員はどうか。この2件でよろしいか。

(「はい」という声あり)

それでは、この2件について、9月29日の全員協議会での報告をお願いします。執行部は退席して結構である。ここで暫時休憩する。

(執行部退席)

[11時40分 休憩]

[11時48分 再開]

○川上委員長

委員会を再開する。

採決前に自由討議が必要だと思われる案件はあるか。あれば、自由討議の趣旨及び目的を示して提案をお願いします。

(「なし」という声あり)

ないようなので、それでは市長提出議案6件の採決を行う。

・議案第60号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・議案第61号 浜田市国民宿舎千畳苑条例を廃止する条例について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・議案第62号 浜田市美又温泉美肌観光拠点施設条例の制定について

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・議案第66号 財産の処分について（浜田市国民宿舎千畳苑）

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・ **議案第 69 号 工事請負契約の変更について（市道日脚治和線（周布橋）橋梁床版工事）**

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

・ **議案第 70 号 市道路線の廃止について（浜田 492 号線）**

本案は原案のとおり可決すべきものと決することに異議ないか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

以上で、当委員会に付託された議案の審査を終了する。委員長報告は正副委員長に一任ということによろしいか。

(「はい」という声あり)

9 月 29 日の表決までに作成し、タブレットに入れておくので確認してほしい。

9 取組課題のまとめについて（委員間で協議）

○川上委員長

当委員会で所管事務調査を行った結果を議長に報告したいと考えている。委員会としてのまとめを作成したいので、各委員から提出のあった内容を踏まえて意見を願います。

○牛尾委員

各委員から意見を出しているので、正副委員長でまとめてほしい。

○川上委員長

正副委員長でまとめて作成するということによろしいか。

(「はい」という声あり)

それでは、皆の意見をまとめて、正副委員長で取りまとめたい。でき次第、皆に報告したいと思っている。本定例会最終日の全員協議会で全体への報告をするイメージなので、よろしく願います。

10 その他

(1) 委員会活動レポート（Vol. 79）の原稿について

○川上委員長

議会広報広聴委員会から委員会活動レポートの原稿の依頼が来ている。原稿提出締切りは 9 月 11 日水曜日である。本日、執筆者と執筆内容を決めたいと思うが、何か案があれば願います。

予定では、16日に井上氏との意見交換があるので、このことを書きたいと思っているがどうか。

(「はい」という声あり)

それでは、私が委員会活動レポートを作成する。

続いて、事務事業評価に係る議会評価意見書についてである。前回の委員会での意見を踏まえて修正している。各委員は見ていると思うが、何か意見はあるか。一部、牛尾委員からの追記もあるので、それも含めながら確認してほしい。

意見がないようであれば、議会意見評価書はこの程度として、後ほど決算審査を踏まえた全議員の評価シートがそろった段階で、加筆することになると思う。決算審査が終わり次第、委員会を開催したい。9月25日の10時である。決算審査でどのような意見が出るか分からないので、しっかりそれを聞き取りながらまとめていきたいと思うので、よろしく願います。

最後に、委員からその他あるか。

(「なし」という声あり)

事務局から何かあるか。

(「なし」という声あり)

次回の委員会は、事務事業評価の関係で9月25日木曜日の午前10時から開催するので、よろしく願います。

以上で産業建設委員会を終了する。

[11時57分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 川上 幾雄